



発行所
全国曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗宗務庁内
発行責任者 伊藤道立
TEL03-454-5411F0

青年僧侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年僧侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

平成二年度

全曹青総会近づくと!!

平成二年五月十一日(金) 友引

十二時 評議員会

二時 総会

四時 禅の集い中央研修会

講師 駒沢大学教授 鈴木格禅 老師
「在家得度について」

六時 懇親会

会場 宗務庁

平成二年五月十二日(土)

九時() 禅の集い中央研修会

十一時 カトリックと禅の接点を求めて

会場 芝青年会館

※ 大勢の出席をお願い致します。(会費 壹万円)

なお出欠は四月末日までに同封の葉書きにてお願い致します。

目次

総会案内・全日仏奈良大会案内.....	1
全曹青OB会設立総会案内.....	2
新潟曹青十周年・研修.....	3
尼僧団便り.....	4

全曹青主幹

全日本仏教青年会奈良大会

平成二年四月二十六日(木)

十時半 受付開始

十二時 拝登法要(於大仏殿)

十二時四十分 タイムカプセル埋設法要

二時 討論会(現代の葬儀と青年僧)

六時 レセプション

会場 奈良東大寺・奈良ホテル

※ 一昨年行なわれた千僧法要を

五十年先・百年先に結ぶ為に

再び奈良にて結集。

破草鞋

▽学業半ばに師僧と死別した旧友は卒業するや周囲の心配をよそに、本山安居を志した。上山二か月の頃母親から近況を知らせる手紙が着いた。うれしそうに読んでいたが、やがて沈黙し、半年後に乞暇して行った。もとより文面に帰山を促す言葉があったわけではない。本山を去る朝、彼は泣いた。ところが後になってその涙の原因が心ない先輩の「二開山に親しめない奴は置いていただけない」という言葉と知り愕然とした。▽言葉の持つ重さを知り、相手を理解する努力は大切である。曹青活動にしても未参加の青年僧を非難するだけではあの本山の先輩と同じである。▽無論、できる者が傍観することには一言も二言も申し上げたい。されど、住職は十職であり重職である。それぞれの置かれた環境は異なる。山村にあって過疎を憂いながら法灯を護る諸兄、兼業なくして寺院運営の成り立たぬ法友が万難を排して青年会に参集してくれる。十分に有り難いことではないか。活動に邁進できる者のうぬばれた批判は誠に慎まねばならない。▽全曹青の幹部が東奔西走している様を聞く。時には理解を得られず悔し涙をすることもあろう。批判されることも「遊び」と卑下されることもあろう。しかし、仏法の大道を明示し、熱き思いを語れ、夢でもいい口マスを語れ、必ずや法友は心を開き協力を約するであろう。何故なら君達は青年僧が今と未来の夢を託した執行部なのだ。▽昭和六十三年四月二十六日、奈良東大寺において全曹青は「花まつり千僧法要」を企画した。参加僧侶は予想をはるかに上回る一千七百余名であった。「仏法興隆」を願わない僧侶はなく、夢を持たない僧侶はいない証明である。

全曹青OB会発足

五月十一日 設立総会に多数の参加を!!

若き情熱を燃やし、ひたむきに取り組んだ青年会活動。夜を徹して語り合ったなつかしの友と日々……。往時をなつかしむ先輩諸兄より、全曹青OB会結成について、強い要望が出されていましたが、全曹青十五周年記念式典の中、歴代会長のよびかけにより、正式に発足することと決定いたしました。

平成二年五月十一日に予定された設立総会には、全国各地より多数のOB会員が上京され、全曹青発足当初の熱気が再現されるものと、大きな期待が寄せられています。

全会員対象の組織を

全曹青十五周年記念式典は、現執行部の方針により、虚飾を避け、簡素な中に十五年の足跡をふり返ろうと、歴代執行部のみの案内にとどめ、少数の参加者によって挙行されました。

席上、歴代会長より「今日の全曹青の隆盛をみたのは、執行部のみならず全国各地の会員の力によるもの、多くの禅兄と会席のよろこびを分かちあいたかった」「十五周年を契機に、OB会を発足させ昔ばなしをできる機会を設けよう」との意見が相次ぎ、全曹青のOB会設立の緊急動議が、参加者全員の賛同により決定しました。

甦れ!!燃えるような情熱

設立総会は、全曹青総会日と同じ五月十一日に宗務庁内「微笑庵」にて開催、規約制定、役員選出などを審議した後、発足パーティーを行なうことで準備をすすめています。青年会当時の、あの燃えるような情熱を甦らすためにも、是非多数ご出席下さい。

全曹青OB会設立総会のご案内

謹啓 時下御尊台には愈々御清栄の段慶賀に存じます。

さて、全曹青結成十五周年を契機に、OB会結成の機運高まり、左記の次第にて設立総会を開催いたすことになりました。

現役の青年会を側面から支援しつつ、旧知が相つどい、友好を深めていくのを主たる目的とし、四十才以上の宗侶をもって組織する団体となる予定であります。

何卒、主旨ご理解の上多数ご臨席下さいますよう、伏してご案内申し上げます。

拝具

全曹青OB会設立準備委員会一同

合掌

記

日時 平成二年五月十一日(金) 午後二時 設立総会

午後六時 結成記念パーティー

会場 曹洞宗々務庁「微笑庵」

会費 壹万円 (パーティー出席者のみ)

内容 規約制定、役員選出、懇親会他

※宿泊希望されます方に研修道場を予定してあります。

◎誠に勝手乍ら準備の都合上、参加されます方は同封はがきにて四月末日迄に出欠・拝宿の有無をお知らせ下さい。(全曹青事務局宛)

修 證 義

5冊装入 ¥6,000
10冊装入 ¥11,000

法要の際にご本堂などで

曹洞宗日課経大全

修證義ミニ本

100冊未満・1冊につき ¥500
100冊以上の場合 ¥480

100冊以上・1冊につき ¥80

●500冊以上、裏表紙に寺院名を刷込が出来ます。

●お申し込みは—(株)タイキ 〒538 大阪市鶴見区今津中3丁目9番6号
TEL (06)969-7191(代) FAX (06)969-7194

妙法蓮華経

- 安楽品
- 寿品
- 祥門品

別紙金剛仕上げ表紙(3冊セット) ¥7,000
洋紙(きぬもみ)仕上げ表紙(3冊セット) ¥6,000

(※各単品もあります。)
(※修證義との組合せも出来ます。)

全曹青十五周年記念 曹青通信復刻縮刷版

『好堅樹』完成

多くの方々に御協力頂きました曹青通信復刻縮刷版が完成致しました。十五周年記念集会のおりに記念品として諸先輩にはお渡し致しました。会員諸兄には地区評議員宛にお送り致しました。

なお、これ以外で御希望の方は、一冊千五百円にて(含送料)お分け致します。

問い合わせ

〒421-02 志太郡大井川町上新田八四八の一
高福寺
全曹青広報委員会
木南広峰宛

T E L
0546 (22)2465
F A X
同上

新潟曹青10周年記念

『曹洞宗新潟県寺院歴住世代名鑑』

発刊

このたび新潟県曹洞宗青年会が同会の設立十周年にあたり記念事業の一環として『曹洞宗新潟県寺院歴住世代名鑑』を編纂、刊行した。

本書は、新潟県内曹洞宗寺院の歴住世代(伽藍法)を総合的に調査し、まとめられたものである。人法についての集大成は『曹洞宗全書大系譜』によって一応完成をみたといえるが、伽藍法についての成果は全国的にも決して十分とはいえず、その総合的な収集・調査・研究が待たれている。この点本書のような試みは宗門史の上からも注目にあたいするといえよう。本書の内容は次のとおりである。

『曹洞宗新潟県寺院歴住世代名鑑』

監修 竹内道雄先生

編纂 新潟県曹洞宗青年会

(題字・序) 菅長親下
(装丁) B五判 二段組 六〇三頁
布クロス 上製 函入

(内容)

○県内曹洞宗寺院(庵寺等をふくむ)合計八四一ヶ寺における歴住世代一七、〇〇〇余名の一覧。

○宗務所・教区・寺籍番号、山号・寺院名、住所・住職、本尊・開基、本寺を示し、次いで世代尊名・示寂年月日・備考を記す。

○備考欄は、各寺院記入のものに加え、大本山總持寺所蔵『住山記』をはじめとする諸史料により補足され、充実している。

○巻末に寺院名索引、西暦和暦対照表を付す。

○(頒価) 八、五〇〇円(送料込)

本書のお申し込みは、ハガキにて左記へお願いします。

新潟県北蒲原郡聖籠町次第浜
永泉寺内
新潟県曹洞宗青年会
記念誌編纂事務局
〒九五七-〇一
電話(〇二五四)二七-三四三番

研修 第五回

宗門の書 “筆痕”

吉岡博道

「山下の隠之道頭と第二回」とりあげました。今回はその法孫である黙山、本庵、龍山の筆痕です。

隠之——黙山元轟
本庵素寂
龍山吞江

黙山(一六八三—一七六三)は昨年八月に法縁の寺、秋田県増田町満福寺伊藤道人師が「黙山遺墨集」を発売された。

その序文を読めば余りの昨今、その命の尊さとその命を生かして八十有余年の生涯を全うせられた黙山禪師の行履が皆のくらしの一助になればと念じつつ発売されたという。俗世のみならず、宗門においても何か物質というか、権威というか巨大な組織におさえこまれてし

まったような感じがする此頃、こういう精神的な遺産を残したいと念ずる若い伊藤師の姿勢にはるか頭の下がる思いがする。黙山禪師の一代記は昭和十八年に人文閣より岡田藤吉氏が著作「聖僧黙山和尚」をあらわしている。現在では仲々入手困難な稀覯本となっている。読者諸師が古書肆でこれを見つければ是非、求めておいて欲しい本である。

禪師の一代を概説すると羽州増田(秋田県)に生れ、近くの満福寺林峰和尚のもとで出家、二十四才江戸に出て吉祥寺に籍をおいたが、事情あって下総(茨城県)の東昌寺へ転錫、ここで隠之禪師と邂逅し、爾來、寝食を忘れて只管に打坐した。この東昌寺には諸国より雲水が隠之禪師の徳を慕って増加し、食糧が時々不足をきたし、生熟飯を供することも多

く、病にかかる者もしばしばで、この時黙山は自ら典座の係を願いだした。有名な「典座黙山」の話はこの時のことである。そのあと惟慧道定、円山道白等に随侍した。そして三十三才で隠之の法を嗣いだ。住職地は渾蔵庵(秋田県)をはじめ大覚寺、阿弥陀寺(岐阜県)、長楽寺(三重県)、迦葉院(埼玉県)、東昌寺(茨城県)である。

黙山は師匠の隠之が一代、書を残されたように、書に対して一種の愛惜を感じ師匠ほどの量ではないが、結構、書が残っている。その書風は古淡、素朴であって白々と格調の高さというか脱俗の雰囲気を感じられる。自らを律した坐禪修行の結果、このような筆痕が出てきたのであろう。

左の写真的書は「当処を離れず、常に湛然」である。私の好きな禅語であるが、当に黙山禪師の孤高清超の姿かじみでとくるようである。禪師はこのほかによく「円相」をかいている。秋田県、埼玉県の法縁の寺に所蔵されている。宗門で「円相」をかく人は余りいない。この「円相」についてはいずれ後述で書いていく。その点でも黙山禪師を「円相」を好んで書いた宗門人として評価してみたい。さて黙山禪師は五十三名の弟子があったが中でも本庵素寂(栃木本光寺二十七世)、龍山吞江(埼玉迦葉院四世)の二人は書を残している。二人共、黙山禪師の膝下に蔵身したことはいうまでもない。



▲黙山書(通覚寺蔵)



▲龍山書(正泉寺蔵)

本庵の書は「円相」である。これ又、京都の書画屋の不明コーナーから。おち穂拾い」と称して集めたものである。師匠黙山の円相を見ていたせいか、本庵も又円相を残したのであった。黙山禪師の一行書「当処を離れず、常に湛然」のように、禅といっても特別なことではない。当たり前人間生活を離れず、自分の当り面した今、このことになり切るものである。そこを筆痕の上で表わし、字の巧拙は問わず、全身全霊を以て今、この一点に出し尽したのが円相である。隠之、黙山、本庵、龍山と三代続いて書を残す系譜は宗門にあって稀有である。先月号の無底、雪爪、雪鴻と並んで評価すべきであろう。(文中敬称略)



▲本庵書(正泉寺蔵)

“彫刻のことならなんでも”

ホリモノ

ムナ

カタ

株式会社

宗 像 商 会

注文仏像・唐木仏具
大木魚・大鑿子

一本手打一枚製鑿子好評発売中

本当の一枚の材料からたき上げた鑿子です。溶接品とは音質が違います。まずはお問合せ下さい。

本店 東京都東村山市富士見町3丁目2番17号 〒198
盛岡支店 岩手県盛岡市みたち5丁目10番48号 〒020-01
函館支店 北海道函館市亀田町19-18号 〒040
松山支店 愛媛県松山市和泉北1丁目5番20号 〒790

TEL (0423) 95-8505(代表)
TEL (0196) 41-3955(代表)
TEL (0138) 43-8550
TEL (0899) 47-2013



尼僧団便り

尼僧堂紹介 (三) 新潟専門尼僧堂

新潟専門尼僧堂は、新潟県北魚沼郡小出町にある。

明治四十年四月、中村仙巖尼により現所在地自坊龍谷院内に曹洞宗宗立の認可を受け新潟尼僧学林を創立した。



▲新潟専門尼僧堂

仙巖尼は尼僧学林創立以前にも「私立仙巖学園」を県知事の認可を得設立、裁縫・修身・読書・算術・習字、時に花道茶道・礼儀作法など教授した。又、観音経の訓読、仏教歌謡等により宗教教育となし信仰倍進に努めたのである。



尼は「日本一の尼叢林を建てたい」という夢のもと、明治三十五年尼僧学林現程が発表されるや、学林開設の準備に着手し、明治四十年四月創立となったのである。以来この地において何ら変わることもなく行持綿密にうち続けている。大正十二年、法堂・僧堂建築、昭和四年には校舎が増築された。昭和十八年曹洞宗、第三尼学林と改称、昭和二十五年九月二十五日、宗制の改正により新潟専門尼僧堂とされた。現在までの送行生は県内を中心に、富山・長野、遠くは下関と全国に広がりその数も六百人を越え、年一回の同窓会を楽しみにしている。このほか同窓会の結束は強く、昭和五十六年の衆寮改築は同窓会の尽力によるところである。

新潟専門尼僧堂は創立よりこの地をはなれたことがないので、村の人々の間にも、修行道場として定着して居り、毎月一日と十五日の托鉢、涅槃托鉢、野菜托鉢と雨の日も雪の日も休むことなく続けられていて下さる家々をまわるのである。現在の尼僧堂は前尼僧堂頭であられた中村恵光老師、現堂頭であられる中村良円老師を中心に小人数ではありますが、怠ることなく他の修行道場と同様に行じられている。年中行事として、三月の涅槃会、七月の盂蘭盆会、十月の塔婆供養があり、村の多くの人々が参詣される。又夏休みにはおほよう参禅会として併設の幼稚園の子供達から大人までが朝のひとときを僧堂の空気の中で過している。毎週日曜日にも一般の参禅者が朝四時の振鈴より晩天、朝課と大衆と一緒に修行している姿が見える。

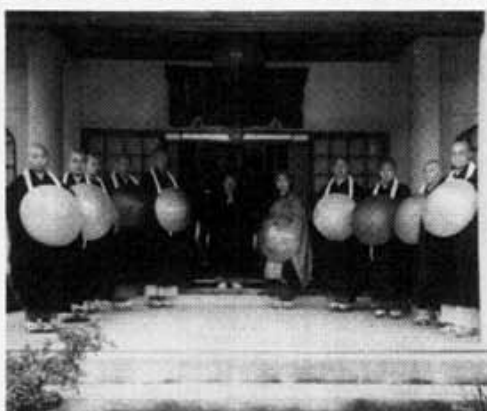
大正十二年に建てられた法堂・僧堂が現在も姿をとどめているのを見るに、仙巖尼のともした法灯が消えることなく、八十有余年たった現在にも続いていることがしみじみと感じられる。

只らに行ずる

新潟専門尼僧堂

堂頭 中村良円

「ホー・ホー」風雪の日、或いは真夏の太陽を浴び乍ら汗だくになる。雨季の蒸暑い時などは、じと／＼とした汗が全身に滲み渡る。一日と十五日の行乞は、雨の日も、小出の町に響き渡る。病気の時以外休むことなく続く。只、八月十五日旧盆と、三月十五日の月遅れ涅槃会の両日は、山門行持の為に休みとなり、一月一日は五日に振替えて行く。



せて押んで下さっているんです。私、有難くて涙が出ました。坊さんになって本当に良かったと思います。」「そう、良かったね。その今の気持ちを忘れるでないよ、お師匠さまのお蔭なんだから。」「はい、本当にそう思います。私中学生の頃、托鉢をした夢を見たことを思い出しました。」「あら、そうだったの。」「三十年も過ぎた今、その夢が実現できたんです。不思議としか言えないようがありません。と涙乍らに喜びを語った彼の雲水には、何時も喜びと感謝が有ります。

「私もね、五十年近く托鉢を続けています。」「私、十代、二十代の頃は些細のことでも可哀しくて、財法二施功徳が言えなかつたことも幾度か有った。」「ただ布施して下さる方は、古参であらうと新参であらうと変りはない、自分に布施し、手を合せて下さるのではない、剃髪をし、法衣をまとっている僧の姿、即ち仏様に供養（布施）し合掌して下さるんだよ、だから心をこめて御回向させて頂かなければならないよ。」「と話したことである。特に新参・随喜の方には「学林さんですね」と念を押されることもある。



明治二十八年竜谷院の開闢以来ずっと続いているこの行乞。そこには、尼僧堂がこの町に存在していることを誇りに思っている。待っていて下さる町の人々がおられる。寒いのに御苦勞さまでございませぬ。かぜを引かないようにして下さい。こんな暑いのに御苦勞さまでございませぬ。雨が降るのに……雪が降って大変です。雨を掛けまして頂き、互いに合掌し、財法二施の功徳を行じさせて頂く。

昨今は尼僧志願者も少なく、雲水が少ない。坐禅を志す一般者には、男女を問わず一緒に坐禅することを許している。夏四時、冬四時半に毎週日曜日に門を潜り、山内の者と等しく、晩天に坐し、朝課、作務、朝粥を共にする若い参禅者がおる。



二十五才になったばかりの男性参禅者は、昨年七月から始めて、大雪の朝一回休んだのみ、毎日通っている。講議の時は喜んで参加し、問いかけなければ口も開かない、作務も自ら進んでやる。先々週の行茶の折「Aさん、坊さんになる気はあるの」と問いかけると「まあ、なる気はあるんですけど、坊さんになっても生活出来ないから」と答えが返って来た。「あら、ここだって檀家もないけど、こうして生活しているでしょう、伽藍の修理だって人様に迷惑を掛けないようにしてやっているんだよ。お釈迦さまは「乞を持って自活せよ」と身を持ってお教え下さったの。こども行乞させて頂いて、日常の行持を安心して行ずることが出来るんだよ。坊さんは賢沢をしてはいかん、心配はないよ」と申したことである。次の日曜は四月一日であり、山内の者は相変らず行乞に出掛ける。その後彼の参禅者達は雪の消えた畑を耕して帰った。いずれ機縁が生ずれば出家することでしょう。

この町の僧堂に行乞が有る限り、出家者がなくなる事はないと信じ、坐禅・行乞・作務・本講と、老僧も住職も雲水も一つになって、今日も明日も僧堂行持が続いている。

合掌

中国シルクロード (天山南路)

仏教遺跡順礼 '90年度・夏季研修探訪

【期 日】平成2年(1990)9月3日(月)～9月13日(木)11日間

【東京・大阪・福岡発着】374,000円 参加者募集中

【日 程】1日目上海 2日目ウルムチ 3日目クチャ 4日目クチャ、ギシル千仏洞、龜茲故城 5日目天山南路 6日目トルファン、ベゼクリク千仏洞、高昌城、火焰山 7日目敦煌莫高窟、鳴沙山 8日目莫高窟、西千仏洞(予定) 9日目蘭州、炳靈寺石仏 10日目上海 11日目帰国

主 催 アショカツアーズ株ビーエス観光 担当・提、新木 大阪(06)444-2221 東京(03)563-2691 名古屋(052)261-8381

西域三大石窟

- 敦煌・莫高窟 十六国時代(366)から、北魏、隋、唐、宋、西夏元の約1,000年の間に開削された砂漠の大画廊
- ※未開放西千仏洞特別拝観予定!!
- トルファン、ベゼクリク千仏洞 玄奘法師の西域記でなじみの高昌国 火焰山の麓に現在57窟の千仏洞がある。
- 庫車・キシル千仏洞 龜茲国の首都で西域最大のオアシスであった。ムガト河北岸の千仏洞のジャータカ 飛天、伎楽天が見事である。